

俳句に親しまう

□年 □組 □番 名前

□

◇ 次の俳句について、問題に答えましょう。

① 名月をとってくれろと泣く子かな	(小林一茶)
② 雪の朝ニの字ニの字の下駄の跡	(田捨女)
③ 閑かさや岩にしみ入る蝉の声	(松尾芭蕉)
④ ゆさゆさと大枝ゆるる桜かな	(村上鬼城)

(一) リズムよく読めるように、二カ所に区切る線を書きこみ  
 ましょう。

例 菜の花や月は東に日は西に

(二) それぞれの俳句の季語と季節を書きましよう。

季節	季語	
		①
		②
		③
		④

(三) それぞれの俳句がどんな様子ようすを表あらわしているかを考え、  
記号ごうで書きましょう。

ア 大きな桜の木の枝が、たくさんたくさんの桜の花びらをつけて、  
風にゆれている。

イ 満月まんげつがとてもきれいなので、取とってほしいと小さなわ  
が子が泣いている。

ウ 雪がふった朝、外へ出てみると「ニ」の形になったげた  
のあとがたくさんできていた。

エ ひっそりとしずかな中で、せみの声だけが岩にしみこむ  
ように聞こえてきた。

①					
②					
③					
④					

# 俳句に親しもう (答え)

(一) リズムよく読めるように、二カ所に区切る線を書きこみましょう。

- ① 名月をとってくれろと泣く子かな (小林一茶)
- ② 雪の朝二の字二の字の下駄の跡 (田捨女)
- ③ 閑かさや岩にしみ入る蝉の声 (松尾芭蕉)
- ④ ゆさゆさと大枝ゆるる桜かな (村上鬼城<sup>きじょう</sup>)

(二) それぞれの俳句の季語と季節を書きましよう。

季節	季語	
秋	名月	①
冬	雪	②
夏	せみ	③
春	さくら	④

※ 季語は、その季節を表す言葉で、俳句には必ず入ります。  
秋は月が美しく、今でも秋にはお月見が行われますね。

(三) それぞれの俳句がどんな様子を表しているかを考え、記号で書きましよう。

①	イ	②	ウ	③	エ	④	ア
---	---	---	---	---	---	---	---

# 短歌に親しもう

□年 □組 □番 名前

◇ ①から③の短歌について、問題に答えましょう。

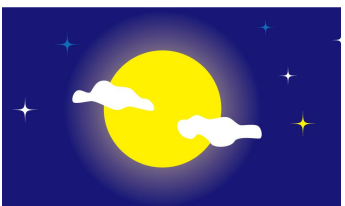
① 田子の浦にうちいでてみれば白たえの富士の高嶺に雪はふりつつ



田子の浦のはまべを歩いてきて、けしきがよく見えるところに来てみたら、真っ白な富士山の高いところに、雪がふり続いていた。

やまべの 赤人  
山部 赤人

② 天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山にいでし月かも



大空をあおいではるか遠くの空を見ると、月が出ている。あの月は、ふるさとの春日にある三笠山に出ている月と同じなのだろうなあ。

あべのなかもろ  
阿倍仲麻呂

③ 向日葵は金の油を身にあびてゆらりと高し日のちひささよ



ひまわりは金の油をあびたようにかがやいてゆらりと高く立っている。後ろに見える太陽が小さく見えるほどだ。

ゆうぐれ  
前田夕暮

(一) リズムよく読めるように、②と③にも①のように四カ所に区切る線を書きこみ、音読しましょう。

(二) それぞれの歌をよんだ時の気持ち<sup>も</sup>を考え、番号<sup>ばんごう</sup>を書き入れましょう。

番号	短歌を作ったときの気持ち・思い
	植物 <sup>しよくぶつ</sup> のたくましさや力強さにおどろく気持ち。
	ふるさとをなつかしく思い出す気持ち。
	目の前に見えるけしきの大きさ、美 <sup>うつく</sup> しさに感動 <sup>かんどう</sup> する気持ち。

## 短歌に親しもう（答え）

（一）リズムよく読めるように、②と③にも①のように四力所に区切る線を書きこみ、音読しましょう。

② あま 天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山にいでし月かも

③ ひまわり 向日葵は金の油を身にあびてゆらりと高し日のちひささよ

（二）それぞれの歌をよんだ時の気持ちを考え、番号を書き入れましょう。

番号	
③	<small>しよくぶつ</small> 植物のたくましさや力強さにおどろく気持ち。
②	ふるさとをなつかしく思い出す気持ち。
①	目の前に見えるけしきの大きさ、美 <small>うつく</small> しさに感動 <small>かんどう</small> する気持ち。

ことわざに親しもう

年 組 番 名前

一、次のことわざは、動物の名前が出てくることわざです。



の中から動物を選んで書きこみましょう

① ( ) の耳に念仏 ねんぶつ

② 泣きっ面つらに ( )

③ ( ) に小判 こばん

④ ( ) も木から落ちる お

⑤ 能のうある ( ) はつめをかくす

⑥ ( ) に真珠 しんじゆ

⑦ とらぬ ( ) の皮算用 かわざんよう

⑧ 飛とんで火に入る夏の ( )

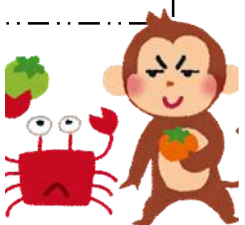


たか  
ねこ

たぬき  
ぶた

馬  
虫

さる  
はち



二、次のことわざは、数字がふくまれたことわざです。

に漢数字かんすうじを入れましょう。

①石の上にも  年

②  死しに一生をえる

③聞きくは  時の恥はじ、聞かぬは  生の恥

④  転ころび  起おき

⑤一を聞きいて  を知る

⑥三つ子のたましい  まで

⑦  里の道も一歩から



(一) ことわざとその意味を線でつなぎましょう。

かっぱの川流れなが

小さなこともつみ重ねれば大きな力となる。毎日の努力が大切である。

ちりも積もれば山となる

どんなにたく意でも、ゆだんするとしっばいする。

百聞は一見にしかずひやくぶん いっけん

一度に二つのことをしようとする<sup>けつきよく</sup>と結局どちらもうまくいかない。

目は口ほどにものをいう

何度も人に聞くより、自分の目で見た方がよくわかる。

二兎を追う者は一兎をも得ずにと お いっと え  
※兎…うさぎ

その人の目を見れば、何が言いたいかわかる。

(二) (一)の五つのことわざのうち、次のお話の中では、どれを使<sup>つか</sup>ったらよいでしょう。  
当てはまることわざを入れましょう。

①毎日一文字ずつ漢字<sup>かんじ</sup>の練習<sup>れんしゅう</sup>をしていたら、いつの間にか四年生で習<sup>なら</sup>うすべての漢字が書けるようになったよ。まさに

だね。

②おにごっここの時、林さんと森さんを一度<sup>いちど</sup>につかまえようと思って走<sup>は</sup>ったけれど、二人ともにげられちゃった。林さんだけ追<sup>お</sup>いかければよかったな。

っていうものね。

③お母さんはまだおこっているんだな。だまっているけれど、

から、わかっちゃうよ。

# 「ことわざ」に親しもう (答え)

一、

## ① (馬) の耳に念仏

\*人の意見いけんに耳をかさず、少しもこうかがない。

## ② 泣きっ面に (はち)

\*不幸ふこうなことが重なること。

## ③ (ねこ) に小判

\*何の役やくにもたたないこと。

## ④ (さる) も木から落ちる

\*上手にできる人でも時にはしっぱいすることがある

## ⑤ 能ある (たか) はつめをかくす

\*のう力がある人は軽々かるがるしく見せつけない。

## ⑥ (ぶた) に真珠

\*何の役にもたたないこと。

## ⑦ とらぬ (たぬき) の皮算用

\*まだ手に入らないのに、入ると期待きたいしてその先をあれこれと計画する。

## ⑧ 飛んで火に入る夏の (虫)

\*自分から進すすんできけんなことにとびこんでいくこと

①石の上にも

三

年

\*つらくても続け<sup>つづ</sup>ければ、いつかはやりとげられる

②九

死に一生をえる

\*あぶないところで、きせきてきに助<sup>たす</sup>かる

③聞くは

一

時の恥、聞かぬは

一

生の恥

\*知らないことは進んで聞くべきだ

④七

転び

八

起き

\*何回しっぱいしてもあきらまないこと

⑤一を聞いて

十

を知る

\*とてもかしこく理<sup>り</sup>解<sup>かい</sup>力<sup>りょく</sup>がある

⑥三つ子のたましい

百

まで

\*小さいころの性<sup>せい</sup>格<sup>かく</sup>は年をとっても変<sup>か</sup>わらない

⑦千

里の道も一歩から

\*どんなに大きなことも努<sup>どり</sup>力<sup>りょく</sup>を重ねていけば成<sup>せい</sup>功<sup>こう</sup>する

(一)

かっぱの川流れなが

ちりも積もれば  
山となる

百聞ひやくぶんは一見いっけんに  
しかず

目は口ほどにも  
のをいう

二兎にとを追おう者は  
一兎いっとをも得えず  
※兎…うさぎ

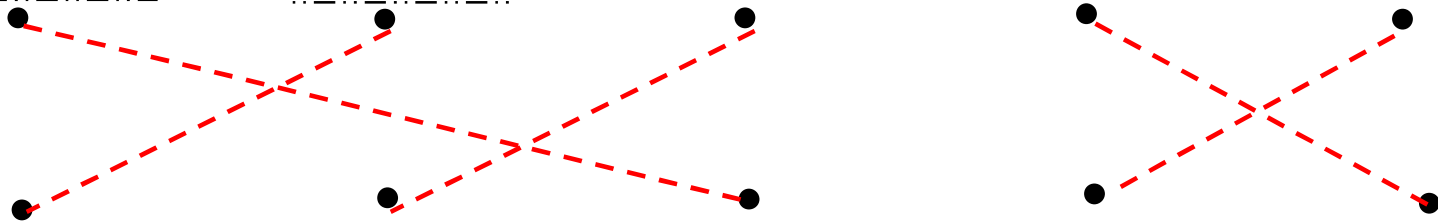
小さなこともつみ重ねかされ  
ば大きな力となる。毎日まいの  
努力どりよくが大切である。

どんなにとく意いでも、ゆ  
だんするとしつぱいする。

一度に二つのことをしよ  
うとすると結局けっきよくどちらも  
うまくいかない。

何度なんども人に聞くより、自  
分の目で見た方がよくわか  
る。

その人の目を見れば、何  
が言いたいかわかる。



(二)

- ① ちりも積つもれば山となる
- ② 二にと兎を追おう者は一い兎をも得えず
- ③ 目は口ほどにものをいう

慣用句に親しもう

年 組 番 名前

一、慣用句とその意味を線でつなぎましょう。

気が長い

自信が持てず、思い切り行動できない。

気が気でない

何かと先を急ぎ、進めずまおうとする。

気が早い

のんびりしていて、いらいらしない。

気が弱い

気になることがあって、心配で落ち着かない。

気が進まない

なかなかそれをしようという気持ちになれない。

二、一つのわくに入っている慣用句の  には、同じ漢字が

入ります。漢字はすべて、体の部分ぶを表します。その漢字を

に書きましょう。

①

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
が回らない	を長くする	をつっこむ

②

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
もとに火がつく	をひっぱる	を運 <small>はこ</small> ぶ

③

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
にたこができる	をうたがう	がいたい

④

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
が上がらない	をかかえる	をひやす



⑦

た  
く  
な  
い

--	--	--

に  
入  
れ  
て  
も  
い

に  
う  
か  
ぶ

を  
通  
す

⑤

--	--	--

が  
広  
い

に  
ど  
ろ  
を  
ぬ  
る

か  
ら  
火  
が  
出  
る

⑧

--	--	--

も  
足  
も  
出  
な  
い

を  
ぬ  
く

が  
つ  
け  
ら  
れ  
な  
い

⑥

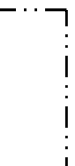
--	--	--

を  
は  
さ  
む

が  
す  
べ  
る

が  
か  
た  
い

三、次の例文れいぶんにふさわしい慣用句を  
入れましょう。



から選えらんで書き

①あと三分しかない  
のに、そうじが全ぜんぜん然  
終おわらない。

よ。

②となりのせきの友だち達  
とは、すきな遊あそびもテレ  
ビ番ばん組も同じ。ぼくたち

ね。

③元きみ気な君が学校を休やすむな  
んて。教室の中は

だよ。

④毎日がんばっているの  
に百メートル走のタイム  
が上がらない。もういや  
だ。ぼくはもう

よ。

⑤おにごっこでにげていた  
けれど、ついになかよし山  
までおいつめられてしまっ  
た。もう

だ。

・ふくろのねずみ

・馬うまが合う

・火かが消きえたよう

・さじを投なげる

・ねこの手も借かりた

「慣用句」に親しもう（答え）

一、慣用句とその意味を線でつなぎましょう。

気が長い

自信が持てず、思い切り行動できない。

気が気でない

何かと先を急ぎ、進めてしまおうとする。

気が早い

のんびりしていて、いらいらしない。

気が弱い

気になることがあって、心配で落ち着かない。

気が進まない

なかなかそれをしようという気持ちになれない。

- 二、①首 ②足 ③耳 ④頭 ⑤顔 ⑥口 ⑦目 ⑧手

\*それぞれの慣用句について、意味も調べてみましょう。

三、

①ねこの手も借りたい

\*とてもいそがしい

②馬が合う

\*せいかく性格や気持ち<sup>が</sup>合う

③火が消えたよう

\*活気がなくなり、さびしい様子ようす

④さじを投げる

\*あきらめる

⑤ふくろのねずみ

\*どこにもにげ場がなくな  
って、おいつめられること

# 故事成語に親しもう

年

組

番

名前

一、次の故事成語は、どのお話がもとになっていますか。線で  
むすびましょう。

蛇足

\* 必要のない物のこと

塞翁が馬

\* 人生の不幸と幸運は  
予想できない

画竜点睛

\* 最後の大事なこと  
ろに手をくわえて  
完成させる

杞憂

\* 必要のない心配を  
すること

虎の威を借る狐

\* 力のある者や権力  
のある者の力を利用し  
ていばる

むかし、酒(さけ)の入ったつぼをけらいたちがもら  
った。そこで、早く蛇(へび)の絵をかき上げた人がそ  
の酒をぜんぶのむことにした。さいしょにかき上げた  
者は、ひまになり、蛇にはない足をつけ足してしまっ  
たため、「その絵は、蛇の絵ではない。」と言われ、  
二番目にかき上げた者に酒をとられてしまった。

むかし、「杞(き)」の国に、天がおち、地がぐず  
れたらどうしようかと思いなやみ、ねることも食べる  
こともできなかった人がいたという。

むかし、塞(とりで)の近くに住んでいた老人(翁)  
は、かっている馬ににげられたが、やがてその馬は別  
のりっぱな馬をつれて帰ってきた。ところが、今どは  
そのりっぱな馬に乗っていた老人のおすこが馬から  
おちてしまった。しかし、今度は戦争(せんそう)がお  
こりわか者はみんな兵隊(へいたい)につれて行かれ  
たが、老人の息子はけがのおかげで戦争に行かずにた  
すかった。

虎(とら)が狐(きつね)をつかまえた。狐は「自  
分は、天のかみさまからすべての動物の長になるよ  
うにめいれいさされている。信じられないのなら、私  
の後からついてきなさい。」と言った。動物たちは  
狐の後にいる虎を見てにげたが、虎はそのことに気  
がつかず、狐のことはをしんじてしまった。

むかし、中国の絵の名人が寺のかべに龍(りゅう)  
をかいたが、ひとみだけはかかなかった。「ひとみ  
を入れると、すぐに龍がとんでいってしまうから  
だ。」とせつ明したが、だれもしんじなかったので、  
本当にひとみをかきこむと、たちまちに龍は本物に  
なり、天にのぼって行ってしまった。

二、次の会話文では、どの故事成語を使ったらよいでしょう。

から選んで、番号を

に書きましょう。

使っている場面

あきとさん 「今日、漢字の宿題（しゅくだい）をやってくるの  
わすれちゃった。」

なおこさん 「だめじゃない。わたしはやってきたよ。一時間も  
かかったんだから。音読の宿題はわすれちゃった  
けどね。」

たけしさん 「宿題をわすれたことは同じだよ。二人とも  
さ。」

あきとさん 「さっきの紙きれ、まだ持っている？」

なおこさん 「『すてて』ってたのまれたから、すてておいたよ。」  
あきとさん 「わあ、どうしよう。あの紙に、来週の図工で使い  
たい材料（ざいりょう）をメモしていたんだ。」  
なおこさん 「ざんねん。  
とは、このことね。」

お母さん 「今日中に、部屋のそうじをしなさい。」

たけしさん 「できないよ。今日はやるのがたくさんあるん  
だ。」

お母さん 「じゃあ、午後から家族（かぞく）でえい画に行く予  
定（よてい）だけれど、たけしさんはむりね。」

たけしさん 「行けるよ。えい画を見る時間はとれるから。」

お母さん 「あなたの話は  
しているわね。」

① 矛盾（むじゆん）（話のつじつまがあわないこと）

② 覆水盆（ふくすいぼん）に返（かえ）らず（ひっくり返した水がおぼんにもどらない  
ように、一度（いちど）やってしまうと取り返（と）しがつかないこと）

③ 五十歩百歩（にたりよつたりで、大きなちがいが無いこと）

「故事成語」に親しもう (答え)

一、

蛇足 だそく

\* 必要のない物のこと ひつよう

むかし、酒(さけ)の入ったつぼをけらいたちがもらった。そこで、早く蛇(へび)の絵をかき上げた人がその酒をぜんぶのむことにした。さいしょにかき上げた者は、ひまになり、蛇にはない足をつけ足してしまつたため、「その絵は、蛇の絵ではない。」と言われ、二番目にかき上げた者に酒をとられてしまった。

塞翁が馬 さいおう

\* 人生の不幸と幸運は予想できない ふこう さいうん

むかし、「杞(き)」の国に、天がおち、地がくずれたらどうしようかと思いなやみ、ねることも食べることもしなかつた人がいたという。

画竜点睛 がりようてんせい

\* 最後の大事などころに手をくわえて完成させる さいご だいじ

むかし、塞(とりで)の近くに住んでいた老人(翁)は、かっている馬ににげられたが、やがてその馬は別のりっぱな馬をつれて帰ってきた。ところが、今どはそのりっぱな馬に乗っていた老人のおすこが馬からおちてしまった。しかし、今度は戦争(せんそう)がおこりわか者はみんな兵隊(へいたい)につれて行かれたが、老人の息子はけがのおかげで戦争に行かずにたすかった。

杞憂 きゆう

\* 必要のない心配をすること しんぱい

虎(とら)が狐(きつね)をつかまえた。狐は「自分は、天のかみさまからすべての動物の長になるようにめいれいされている。信じられないのなら、私の後からついてきなさい。」と言つた。動物たちは狐の後にいる虎を見てにげたが、虎はそのことに気がつかず、狐のことばをしんじてしまった。

虎の威を借る狐 とら い か きつね

\* 力のある者や権力のある者の力を利用していばる けんりよく

むかし、中国の絵の名人が寺のかべに龍(りゅう)をかいたが、ひとみだけはかかなかつた。「ひとみを入れると、すぐに龍がとんでいってしまうからだ。」とせつ明したが、だれもしんじなかつたので、本当にひとみをかきこむと、たちまちに龍は本物になり、天にのぼっていってしまった。

二、 (右から) ③

②

①

# 漢字は便利

□年 □組 □番 名前

□

一、ひらがなではまぎらわしい文も、漢字を使うと分かりやすくなります。

同じ読み方の漢字でも、意味は大ちがいだからです。

次の文の \_\_\_\_\_ に、それぞれちがう漢字を入れましょう。

① すぐに服を きる と、母にほめられる。

はさみで布を きる。

② はな をかぐと、いい香り

はな をかむと、気分すっきり。

③ りんごの実が き になる。

明日の天気 が き になる。

④ もう君とは はなさない。

もう君の手は はなさない。

⑤ ひ をあびて大きく育つ。

ひ であぶっておいしく食べる。

る	① る
	②
	③
さない	④ さない
	⑤



二、ひらがなではまぎらわしい文も、漢字を使うと分かりやすくなります。

漢字で書けるところは線の左に漢字で書いてみましょう。

・うらにわ | には | にわ | にわ | には | にわ | にわ | にとりがある。

・は | は | い | い | は | は | は | は | は | は | み | が | か | な | い | 。

## 漢字は便利（答え）

一、ひらがなではまぎらわしい文も、漢字を使うと分かりやすくなります。

同じ読み方の漢字でも、意味は大ちがいだからです。

次の文の \_\_\_\_\_ に、それぞれちがう漢字を入れましょう。

切る	① 着る
鼻	② 花
気	③ 木
放さない	④ 話さない
火	⑤ 日

二、ひらがなではまぎらわしい文も、漢字を使うと分かりやすくなります。

漢字で書けるところは線の左に漢字で書いてみましょう。

うら庭には二羽庭には二羽にわとりがいる。  
歯はいい母は歯はみがかない。

# 国語辞典じてんを使う

□年 □組 □番 名前

山田さんの学校では、「は歯みがき教室」を行いました。その中で、しかえいせいし歯科衛生士さんは歯みがきの大切さを次のように話しました。

みなさんは、むし歯の原因げんいんを知っていますか。

歯みがきをしないと、歯の表面についたプラークにミュータンス菌がすみつき、とうぶん糖分をえいようにしていさん酸を出します。この酸が歯をとかし、むし歯ができるのです。むし歯にならないよう、食後に歯をみがく習慣をつけましょう。

また、近年、小学生で「しにくえん歯肉炎」にかかる人が増加エぞうかしています。歯の土台である歯ぐきが病気びょうきだと歯を支えることができず、健康な歯オもうしなってしまうです。

正しい歯のみがき方をおぼえて、自分の歯と歯ぐきをまもりましょう。

一、山田さんは、わからない言葉を国語辞典を使って調べるときにしました。国語辞典に出てくる順にア〜エの記号をならべましょう。



二、山田さんは、オの「うしなつて」を調べようと思いましたが、そのままでは国語辞典にのっていませんでした。どのような形に直して調べたらよいでしょう。



## 国語辞典を使う (答え)

一、山田さんは、わからない言葉を国語辞典を使って調べるところにしました。国語辞典に出てくる順にア→エの記号をならべましょう。

イ↓ウ↓ア↓エ

二、山田さんは、オの「うしなう」を調べようと思いましたが、そのままでは国語辞典にのっていませんでした。どのような形に直して調べたらよいでしょう。

うしなう

国語辞典は、言葉の意味や使い方を知りたいときやどんな言葉を使って書いたらよいかを知りたいときに使います。

☆国語辞典の引き方をおぼえましょう。

約束① 五十音順にならんでいます。

約束② 清音↓だく音 ↓半だく音の順に出ています。

ホール↓ボール↓ポール

約束③ 長音(のばす音)は、「あ」「い」「う」「え」「お」で読みます。

ケーキ↓けえき      ゴール↓ごおる      チーズ↓ちいず

☆また、文章の中で分からない言葉を調べるときには、「うしなう」を「うしなう」に直したように、言い切りの形にしてから調べます。

例(れい)

話せば↓話す

食べよう↓食べる

青く↓青い

ことば  
言葉のしゅるい

□年 □組 □番 名前

□

田中さんの学級では、言葉のしゅるいについて学習しました。言葉には、名前を表す言葉、動きうごを表す言葉、様子ようすを表す言葉などがあります。

田中さんは、いろいろなしゅるいの言葉を使って、妹と二人でシャボン玉あそびをしたことを作文に書こうとしています。次の作文メモの□□に入る言葉を、あとの1から4までの中から一つえらんで、番号にまるをつけましょう。

【田中さんが書いた作文メモ】

作文メモ① 「小さなシャボン玉」

◆ア よく息をふくと小さなシャボン玉ができました。

1 楽しかった 2 いきよい 3 わたしは 4 いきおい

☆様子を表す言葉が入ります。

作文メモ② 「大きなシャボン玉を作るには」

◆大きいシャボン玉を作るにはイ 息をふけば、よいだろうと考えました。

1 楽しく 2 そっと 3 妹と 4 考えて

☆様子を表す言葉が入ります

作文メモ③ 「シャボンえきを工夫して」

◆ 妹が、

「ウ、シャボンえきをこくしてみたらどうかしら。」  
と言ったので、こいシャボンえきを作ることになりました。

1 わたしは

2 弟と

3 おねえちゃん

4 お母さん

☆名前を表す言葉が入ります。

作文メモ④ 「シャボン玉づくりは大せいこう」

◆ シャボンえきを作りなおして息をふくと、大きなシャボン玉が  
できました。シャボン玉は、空高くエ。

1 できました

2 とんでいきました

3 楽しかったです

4 消える

☆動きを表す言葉が入ります。

## 言葉のしゅるい (答え)

田中さんの学級では、言葉のしゅるいについて学習しました。言葉には、名前を表す言葉、動きを表す言葉、様子ようすを表す言葉などがあります。

田中さんは、いろいろなしゅるいの言葉を使って、妹と二人でシャボン玉あそびをしたことを作文に書こうとしています。次の作文メモの  に入る言葉を、あとの1から4までの中から一つえらんで、番号にまるをつけましょう

ア：4    イ：2    ウ：3    エ：2

### (解説)

作文メモ①【小さなシャボン玉】

- ・「様子を表す言葉」のうち正しいのは4の「いきおい」です。2の「いきよい」とまちがえないように注意しましょう。3の「わたしは」は「名前を表す言葉」です。

作文メモ②【大きなシャボン玉を作るには】

- ・「様子を表す言葉」は1と2ですが、そのうち2の「そつと」をえらびます。楽しくふいても大きなシャボン玉にはならないので、文章の意味を考えて 言葉をえらぶ必要(ひつよう)があります。3は「名前を表す言葉」、4は「動きを表す言葉」です。

作文メモ③【シャボンえきを工夫して】

・「名前を表す言葉」のうち、妹の会話文に、だれが登場するかを考えます。わたしと妹が二人でシャボン玉あそびをしています。妹がわたしのことをよぶのですから、3の「おねえちゃん」が正しいですね。

作文メモ④【シャボン玉づくりは大せいこう】

・「動きを表す言葉」をえらびますが、「空高く」につづく言葉をえらぶとすると、2の「とんでいきました」になります。重なる言葉をさけたり、つながりを考えたりして言葉をえらぶのも大事なことです。

本や文章を読んで、その中で使われている言葉が、どのような性質せいしつを持ち、どのように使い分けされるのかを考えてみましょう。

また、作文などでいろいろなしゅるいの言葉を使う場合には、その文の中でふさわしい形や言い方に直して正しく使いましょう。



読点を打つところ

□年 □組 □番 名前

一、  
□の中の意味になるように、文章に読点を一つ打ちましょう。

① 自転車に乗っているのは、兄

兄は自転車に乗ってにげる弟を追いかけた。

② 自転車に乗っているのは、弟

兄は自転車に乗ってにげる弟を追いかけた。

③ すてきなのは、川野先生

すてきな川野先生のピアノえんそうでしたね。

④ すてきなのは、川野先生のピアノえんそう

すてきな川野先生のピアノえんそうでしたね。

二、次の文に、読みやすくなるように（ ）の中の数だけ読点を打ちましょう。

ア わたしは四人家族です。(一つ)

イ 欠席者は二名田中さんと山本さんです。(一つ)

ウ 天候がよくなってきたのでプールに入れそうだ。(一つ)

エ あああの赤い屋根の家ですね。(一つ)

オ お父さんが

「またみんなで行こうね。」

と言いました。(二つ)

読点を打つところ (答え)

一、  
[ ] 中の意味になるように、文章に読点を一つ  
打ちましょう。

① 自転車に乗っているのは、兄

兄は自転車に乗って、にげる弟を追いかけた。

② 自転車に乗っているのは、弟

兄は、自転車に乗ってにげる弟を追いかけた。

③ すてきなのは、川野先生

すてきな川野先生の、ピアノえんそうでしたね。

④ すてきなのは、川野先生のピアノえんそう

すてきな、川野先生のピアノえんそうでしたね。

二、次の文に、読みやすくなるように ( ) 中の数だけ読点を打ちましょう。

ア わたしは、四人家族です。(一つ)

イ 欠席者は二名、田中さんと山本さんです。(一つ)

ウ 天候がよくなってきたので、プールに入れそうだ。

(一つ)

エ ああ、あの赤い屋根の家ですね。(一つ)

オ お父さんが、

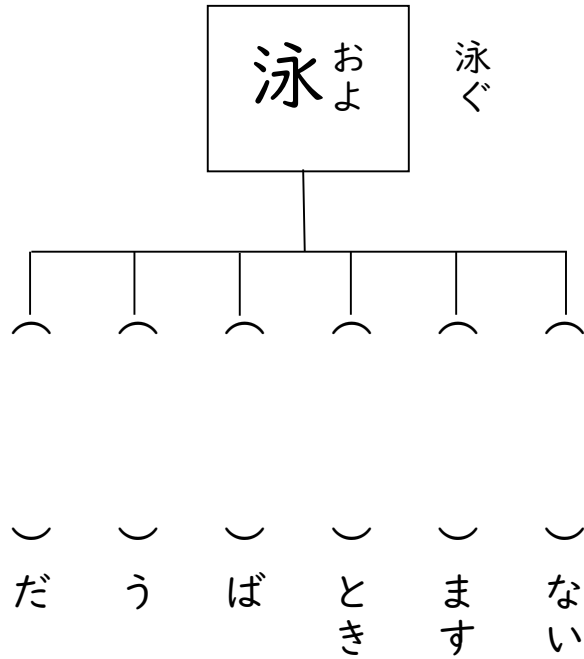
「また、みんなで行こうね。」

と言いました。(二つ)

送りかな

年  組  番 名前

一、次の（ ）に送りかなを書きましょう。



二、次の□の言葉の形を変えて、下の文の（ ）に正しい送りかなを入れましょう。

① 上のぼる ○ かいだんを走って上（ ） ないでください。

② 下おろす ○ ちよ金を下（ ） ば、買えます。

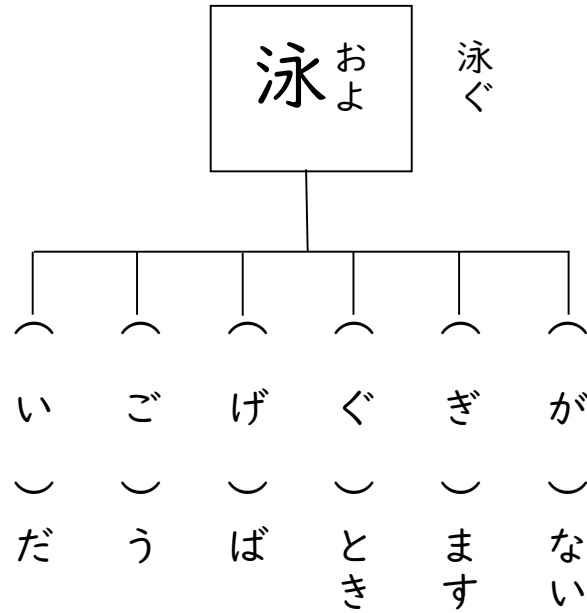
③ 冷さめる ○ 五分お湯を冷（ ） と、ちようどいいです。

④ 暖あたたかい ○ 暖（ ） 春の日ざしは、気もちがいい。

⑤ 育はぐむ ○ 思いやりの心を育（ ） しましょう。

送りかな (答え)

一、次の ( ) に送りかなを書きましょう。



二、次の□の言葉の形を変えて、下の文の ( ) に正しい送りかなを入れましょう。

① 上<sup>のぼ</sup>る

○かいだんを走って上 ( ) ら ( ) ないてください。

② 下<sup>お</sup>ろす

○ちよ金を下 ( ) ろせ ( ) ば、買えます。

③ 冷<sup>さ</sup>める

○五分お湯を冷 ( ) ます ( ) と、ちょうどいいです。

④ 暖<sup>あたた</sup>かい

○暖 ( ) かい ( ) 春の日ざしは、気もちがいい。

⑤ 育<sup>はぐく</sup>む

○思いやりの心を育 ( ) み ( ) しましょう。

「こそあどことば」を学ぼう

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
年	組	番	名前
<input type="text"/>			

◇ 次の（ ）にあてはまる「こそあどことば」を考えて書きましよう。

《例》あなたの目の前にいる   の人が千葉さんです。

① わたしは、遠くに見える   タワーの展望台 てんぼうだい にのぼったことがある。

② きのお、家族 かぞく みんなで遊園地 ゆうえんち に行きました。  には、楽しい乗り物 もの がたくさんありました。

③ このおかしは   のお店で売っていたのですか。

④   ケーキを食べよう。

⑤    に見える山がふじ山です。



⑥ 学校へは    の道を行けばいいのか教えてください。



⑦    の道を五分くらいすすむと、学校に着きます。



# 「こそあどことば」を学ぼう（答え）

◇ 次の（ ）にあてはまる「こそあどことば」を考えて書きましょう。

《例》あなたの目の前にいる 

こ
の

 人が千葉さんです。

① わたしは、遠くに見える 

あ
の

 タワーの展望台てんぼうだいにのぼったことがある。

② きのお、家族かぞくみんなで遊園地ゆうえんちに行きました。 

そ
こ

 には、楽しい乗り物ものがたくさんありました。

③ このおかしは 

ど
こ

 のお店で売っていたのですか。

④ 

こ
の

 ケーキを食べよう。



⑤ 

あ
そ
こ

 に見える山がふじ山です。

※ 「あちら」でも正かいです。



⑥ 学校へは 

ど
ち
ら

 の道を行けばいいのか教えてください。

※ 「どっち」でも正かいです。



⑦ 

こ
ち
ら

 の道を五分くらいすすむと、学校に着きます。

※ 「こっち」でも正かいです。



しゅうしよく語を学ぼう

年

組

番名前

◇ 次の \_\_\_\_\_ 線の言葉（しゅうしよく語）は、どの言葉をくわしくしていますか。くわしくしている言葉に~~~~~を引きましょう。

【れい】ツバメは とても はやく とぶ。

①妹が うれしそうに 笑う。

②わたしの いちばん すきな 花です。

③サクラの 花が きれいに さいた。

④ゾウの 長い はなが 動く。

⑤わたしの 町に 大きな 公園が ある。

⑥楽しい 映画を みると わくわくする。

⑦車が ゆっくり 走る。

⑧あした 母と いっしょに 遊園地ゆうえんちに行く。

## 「しゅうしよく語」を学ぼう(答え)

◇ 次の \_\_\_\_\_ 線の言葉(しゅうしよく語)は、どの言葉をくわしくしていますか。くわしくしている言葉に~~~~~を引きましょう。

【れい】ツバメは とても はやく とぶ。

① 妹が うれしそうに 笑う。

② わたしの いちばん すきな 花です。

③ サクラの 花が きれいに さいた。

④ ゾウの 長い はなが 動く。

⑤ わたしの 町に 大きな 公園が ある。

⑥ 楽しい 映画を みると わくわくする。

⑦ 車が ゆっくり 走る。

⑧ あした 母と いっしょに ゆうえんち 遊園地に 行く。



「つなぎことば」を学ぼう

年  組  番名前

◇つなぎことばについての問題です。

(一) 次の  に合うつなぎことばを、あとの  からえらんで書きましょう。

①リコーダーを上手にふけるようになりたい、 わたしは、毎日れんしゅうをしている。

②わたしは本を読むことが好きです。、体を動かすことはにがてです。

③今日、わたしは早おきをした。、公園に行ってラジオ体そうにさんかするからだ。

④今日の夕ごはんはカレーライスですか、 ナポリタンですか。

なぜなら  だから  それとも  そして  しかし

(二) つなぎことばのあとに、「ぎんねんだ」という気持ちが一番強く表れているのはどの文ですか。記ごうで答えましょう。

- ア 毎日走る練習をした。しかし、マラソン大会では三位だった。
- イ 毎日走る練習をした。だから、マラソン大会では三位だった。
- ウ 毎日走る練習をした。そして、マラソン大会では三位だった。

## 「つなぎことば」を学ぼう (答え)

◇つなぎことばについての問題です。

(一) 次の  に合うつなぎことばを、あとの  からえらんで書きましょう。

④ リコーダーを上手にふけるようになりたい、 だから、 わたしは、毎日れんしゅうをしている。

⑤ わたしは本を読むことが好きです。 しかし、 体を動かすことはにがてです。

⑥ 今日、わたしは早おきをした。 なぜなら、 公園に行ってラジオ体そうにさんかするからだ。

④ 今日の夕ごはんはカレーライスですか、 それとも  ナポリタンですか。

なぜなら  だから  それとも  そして  しかし

(二) つなぎことばのあとに、「ざんねんだ」という気持ちが一番強く表れているのはどの文ですか。記号で答えましょう。

- ア 毎日走る練習をした。しかし、マラソン大会では三位だった。
- イ 毎日走る練習をした。だから、マラソン大会では三位だった。
- ウ 毎日走る練習をした。そして、マラソン大会では三位だった。

ア

主語、じゅつ語、しゅうしよく語を学ぼう

<input type="text"/>
年
<input type="text"/>
組
<input type="text"/>
番名前
<input type="text"/>

◇ 主語、じゅつ語、しゅうしよく語についての問題です。

(一) 次の文の、主語、じゅつ語、しゅうしよく語を表ひょうに書きま  
しょう。

① わたしの ランドセルは 赤い。

主語		じゅつ語		しゅうしよく語	
----	--	------	--	---------	--

② 兄は 六時に 学校から 帰ります。

主語		じゅつ語		しゅうしよく語	
----	--	------	--	---------	--

③ 西の 空が とつぜん 暗くなった。

主語		じゅつ語		しゅうしよく語	
----	--	------	--	---------	--

(二) 次の \_\_\_\_\_ 線のしゅうしよく語は、どの言葉の意味をくわしくしていますか。 \_\_\_\_\_ に書きましよう。

① 弟が うれしそうに まんがを 読んでいる。

② 校庭に たくさんの 子どもたちが いました。

③ 静かな 教室で 花の 絵を かく。

④ 静かに 教室で 花の 絵を かく。

「主語、じゅつ語、しゅうしよく語」を学ぼう (答え)

◇ 主語、じゅつ語、しゅうしよく語についての問題です。

(一) 次の文の、主語、じゅつ語、しゅうしよく語を表ひょうに書きましよう。

⑤ わたしの ランドセルは 赤い。

主語	ランドセルは	じゅつ語	赤い	しゅうしよく語	わたしの
----	--------	------	----	---------	------

⑥ 兄は 六時に 学校から 帰ります。

主語	兄は	じゅつ語	六時に 学校から	しゅうしよく語	帰ります
----	----	------	-------------	---------	------

⑦ 西の 空が とつぜん 暗くなった。

主語	空が	じゅつ語	西の とつぜん	しゅうしよく語	暗くなった
----	----	------	------------	---------	-------

(二) 次の \_\_\_\_\_ 線のしゅうしよく語は、どの言葉の意味をくわしくしていますか。  に書きましよう。

① 弟が うれしそうに まんがを 読んでいる。

読んでいる

② 校庭に たくさんの 子どもたちが いました。

いました

③ 静かな 教室で 花の 絵を かく。

教室で

④ 静かに 教室で 花の 絵を かく。

かく

「曲がり」と「おれ」に気をつけよう

年 組 番名前

◇ 岡田さんは書写の学習で「曲がり」と「おれ」の筆づかいの練習れんしゅうをしました。そして、筆のつかい方のちがいに気づくことができました。

ビル 意見

「曲がり」 「おれ」

「おれ」 「おれ」 「曲がり」

一、次の文字の「曲がり」の部分を見つけて○をつけましょう。

セ配港礼院

二、次の文字の「おれ」の部分を見つけて○をつけましょう。

フ銀医長植

三、他にも「曲がり」や「おれ」の部分がある漢字を二つずつさがして書きなさい。

「曲がり」

「おれ」

「曲がり」と「おれ」に気をつけよう (答え)

◇ 岡田さんは書写の学習で「曲がり」と「おれ」の筆づかいの練習れんしゅうをしました。そして、筆のつかい方のちがいに気づくことができました。

ビル

意見

「曲がり」 「おれ」

「おれ」 「おれ」 「曲がり」

一、次の文字の「曲がり」の部分を見つけて○をつけましょう。

セ配港礼院

二、次の文字の「おれ」の部分を見つけて○をつけましょう。

フ銀医長植

三、他にも「曲がり」や「おれ」の部分がある漢字を二つずつさがして書きなさい。

「曲がり」 (例)

究	丸
---	---

「おれ」 (例)

局	始
---	---



ローマ字しりとりをしよう

年  
 組  
 番  
 名前

一、ローマ字は色々なつづり方をすることがあります。左がわと同じ読み方でちがうつづり方になるように下の□からえらんでアルファベットを書きなさい。(同じアルファベットを二回使う場合があります。)

- 例) みち      miti — michi
- きしゃ      kisyā — kis□a
- つる        turu — t□uru
- ふた        huta — □uta
- みかづき   mikazuki — mika□uki
- じかん      zikan — □ikan
- じゃむ      zyamu — □amu

j s h f d a

二、  
 二でしりとりが  
 文字れば二人  
 てもいいでや  
 いです。つな  
 ぎように□に  
 みるましよう  
 。（つなげる  
 文字は一文字  
 でも

kawa (かわ)

↓

wani (わに)

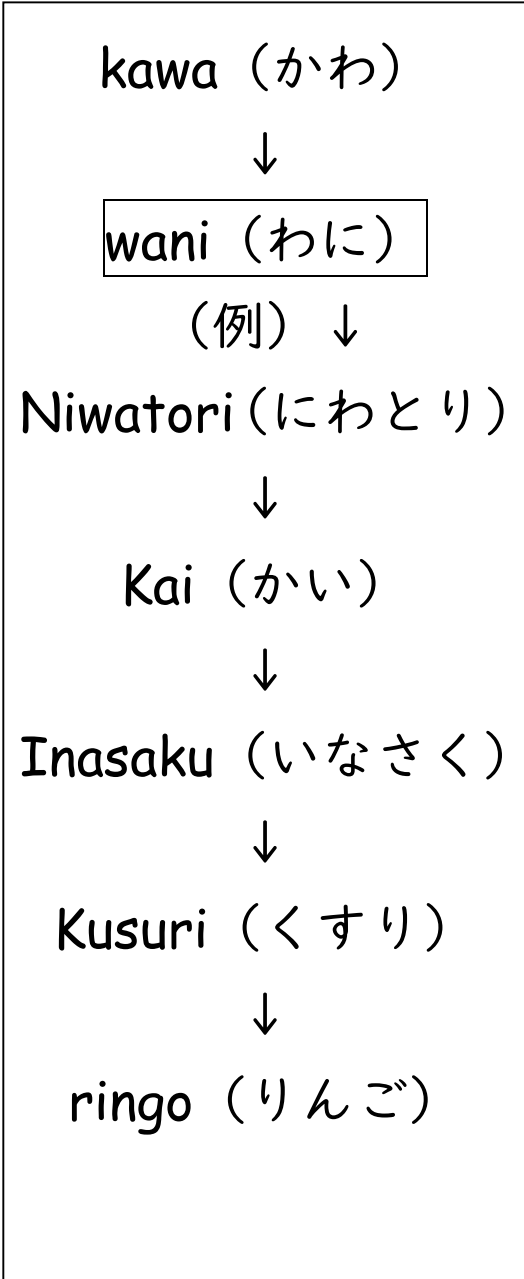
↓

↓

↓

↓

↓



二、  
でしりとり  
きれとり  
文字でも  
二文字  
でも  
い人が  
いでつな  
いでつな  
がなるよ  
うに  
みましょ  
うに  
アルファ  
ベットを  
入れな  
さい。  
(つな  
げる文  
字は一  
文字  
でも)

例) みち	miti	—	michi
きしゃ	kisya	—	kisha
つる	turu	—	tsuru
ふた	huta	—	futa
みかづき	mikazuki	—	mikaduki
じかん	zikan	—	jikan
じゃむ	zyamu	—	jamu

j s h f d a

一、  
ローマ字は色々な  
読み方でちがう  
方がなるように  
アルファベットを  
書きなさい。  
(同じアルファ  
ベットを二回使  
う場合  
左がわと同  
じ読みです。)

ローマ字しりとりをしよう (答え)